

平成30年6月22日

各位

弊所主催セミナー等の申込データの情報流出について

このたび、弊所では、職員的人為的ミスにより、平成30年6月14日から21日までの間、第三者が当所主催セミナーの申し込み用サイトの管理者画面にインターネットからアクセス可能な状態にあり、同月20日から21日にかけて、当該管理者画面から、当所が管理しているセミナー参加者名簿が第三者に流出したことを確認いたしました。

流出した情報は、平成30年2月9日以降に募集開始したセミナー申込者名簿等で、個人情報6,016件含まれていたことを確認しており、情報項目としては、セミナーの申込者が申し込みの際に入力された、勤務先の企業名、氏名、役職、連絡先住所、電話番号、メールアドレス等です。

現在のところ、流出した情報には、二次被害が発生するおそれのあるクレジットカード等に関する情報や信用情報、要配慮個人情報は含まれていないと認識しています。また、現在のところ、流出した情報が一般に公開・公表された事実は確認されておりません。

また、現在まで、当所は申込者等から、上記の流出した連絡先に対する不審な連絡等に関するご指摘やご相談はいただいておりません。

個人情報をご提供いただいた皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

当所では、対象となる申込者ご本人に対し、個別にメールもしくは郵送等にて、ご連絡しお詫び申し上げます。

今回の事態を厳粛に受け止め、関係当局に報告するとともに、再発防止に向け、これまで以上に、個人情報の取扱いに万全を期すとともに、セキュリティ対策の強化に全力で取り組んでまいります。

今後、ご関係の皆様にお知らせすべき新たな情報が判明しましたら、随時ホームページ等にてお知らせいたしますが、まずはお詫び申し上げますとともに、ここにご報告申し上げます。

大阪商工会議所 常務理事・事務局長
児玉 達樹